

作業時間計測ツール 「じょぶたん」の 建設業界での導入事例集



目次

はじめに

1. 第一交易様：建設工事管理者の残業時間の
作業内容を把握して業務改善に取り組む！
2. 大和リース様：設計部門のDX推進で「じょぶたん」を利用！
3. 大林組様：見積部門の業務デジタル化の効果検証目的で
「じょぶたん」を利用！
4. タナベコンサルティング様：
建設会社の生産性向上支援コンサルティングで
「じょぶたん」を徹底活用！

おわりに

はじめに

建設業界では、働き方改革関連法により残業時間の上限規制が適用される「2024 年問題」に対応しなければならないということで、2020 年以降、残業時間と休日出勤の削減、有給休暇の取得促進に取り組む建設会社が増えてきました。しかしながら、2025 年を迎えてもなお、国民の 5 人に 1 人が 75 歳以上の後期高齢者となる情勢を背景に、技能者の高齢化による退職と後継者不足で現状維持すら難しく、残業時間削減の対策を講じることができない建設会社が多く存在しています。

残業時間削減と有給休暇の取得促進の前に、従業員達が残業時間にどんな仕事をしているのか、休日出勤をしてどんな仕事をしているのかという現状把握が不可欠です。しかし、建設現場に直行直帰する従業員、コロナ禍以降は在宅勤務で見積もり・設計業務をする従業員が多く、建設業界では勤務実態が掴みにくいといった課題があります。

このような状況の中、スマートフォンによる作業時間計測ツール「じょぶたん」を活用して、現場作業、事務作業（見積もり・設計）の実態を正確に把握し、業務改善に取り組んだ建設会社が存在します。本稿では建設業界での「じょぶたん」の活用事例を 4 つ紹介します。

1. 第一交易様：建設工事管理者の残業時間の 作業内容を把握して業務改善に取り組む！

for the one
DAIICHIKOEKI

第一交易株式会社

最初に紹介するのは、内装・外装工事・リフォームを行っている富山県の第一交易様です。新しい基幹システムの導入に際して、現場業務から事務作業を内製化する必要があり、現状の勤務実態を把握する目的で「じょぶたん」を導入しました。



期間を分けて「建築工事管理」「建築事務」「積算・検査」「工場」「総務部」の5部門の作業時間計測を実施。下記は建築工事管理部門の「じょぶたん」の計測画面です。4画面で約50の計測作業項目を設定して計測しました。

図1.「建築工事管理」部門のじょぶたんスマホ画面（4画面）



建設工事管理部門の計測結果から、管理者が残業時間に行っている仕事のほとんどが事務作業だということが判明しました。管理者の事務作業はできるだけ建築事務部門の担当者に振ることで、管理者の負担を減らして残業時間を短縮する改善に取り組みました。

これまでは、1つの受注案件を管理者が事務作業を含めて一人でやりきるという体制で行っていましたが、新しい基幹システムは分業体制を想定したものとなり、一人ですべての仕事を抱え込むのではなく、他部門に仕事を振ることができるようにする、他部門の初めての担当者が間違いを起こして出戻りすることがないようにチェックリストを作成し、誰でも対応できるよう教育することに力を入れたそうです。

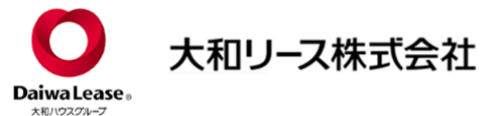
また、特定の部門で移動時間の割合が多いことも判明しました。原因を調べたところ、コロナ禍以降、3拠点の何れに出勤しても構わないという勤務体制に変更したことが影響し、自宅から近い拠点に出勤した後に遠い現場に移動する人がおり、以前よりも現場移動の時間が長くなっているケースがあることがわかりました。

第一交易様では、計測作業項目を設定する際に「社外作業」と「社内作業」の2つの大区分を作りました。個人別に社外・社内の作業時間の比率を見たところ、現場に頻繁に行ってお客様とよく話している人と、事務所から出ずに社内です仕事をする人が多い人が明確になったそうです。現場に行かずとも回せる要領の良さも大事ですが、お客様とよく話すことで次の仕事につなげていくことも重要です。この人は

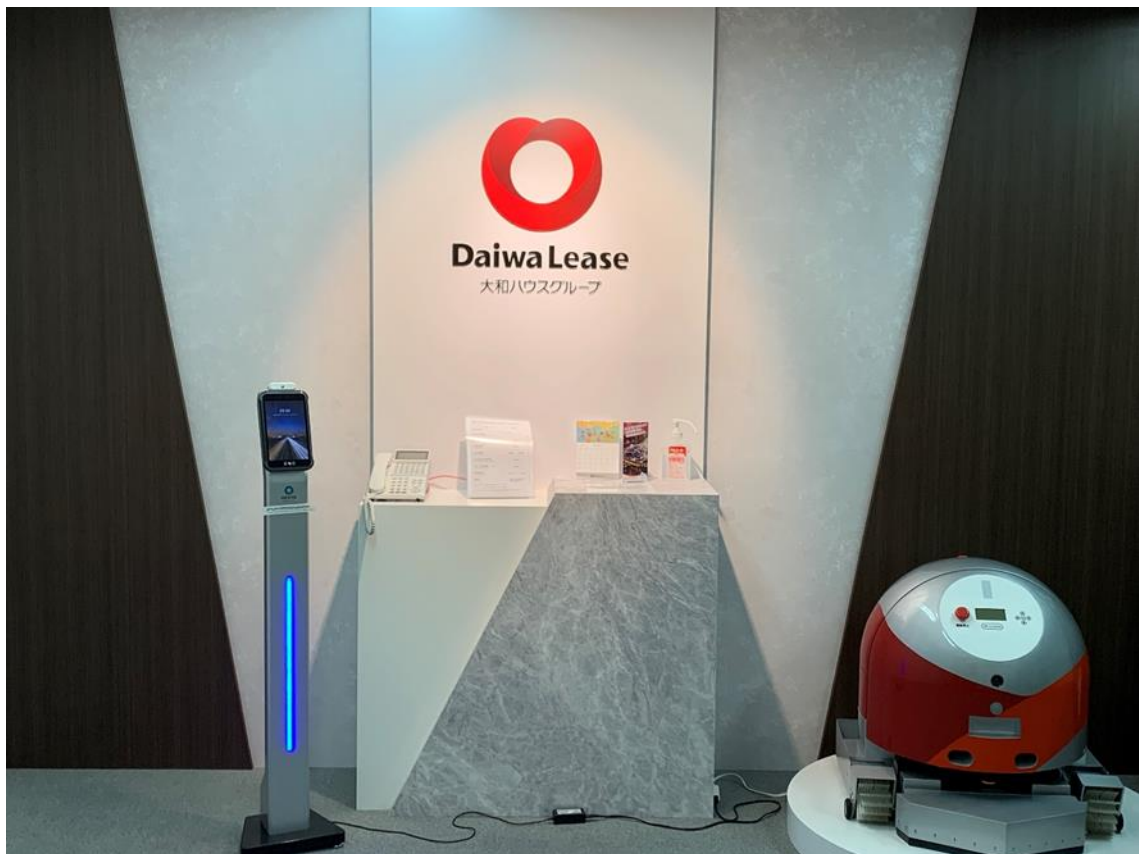
こういう働き方をしているのではないかと以前から思っていたことが、データを見ると如実に反映されていたとのことです。

第一交易様の導入事例の詳細はこちら (https://www.job-tan.jp/case_study/case08/) でご覧いただけます。

2. 大和リース様：設計部門のDX推進で「じょぶたん」を利用！



では次に、大和ハウスグループの一員としてシステム建築を核に、土地活用の提案や商業施設の開発・運営、駐車場建設および自動車・農業・福祉分野のリース事業、都市緑化・再生可能エネルギーの推進など、幅広い事業を展開している大和リース様の事例を紹介します。



大和ハウスグループの各社が BIM (Building Information Modeling: 建物の 3D モデルを作成して建築プロセスを一元管理する手法) の取り組みを共有する会議の中で、あるグループ会社が「じょぶたん」を使って建設現場の業務と作業時間を可視化できたという発表をされました。そこで「じょぶたん」の存在を知ったことにより、設計部門の DX 推進で利用できるのではないかと考え、8 拠点の設計部門約 90 名に

ついて作業計測を1か月間実施しました。

以下が設計部門の「じょぶたん」のスマートフォン画面です。大区分として設計業務と設計以外の業務の2つに分けて、さらに中区分で屋内作業と屋外作業、小区分で決定物件と未決定物件に分け、それぞれの時間の比率を把握しました。

図2. 設計部門の「じょぶたん」スマートフォン画面（3画面）

「じょぶたん」で表示されるスマートフォンの計測画面（3画面をスワイプ）

閉じる 変更			閉じる 変更			閉じる 変更		
P：決定物件設計業務			P：未決定物件設計業務			P：その他		
決)CAD作図	決)在来CAD作図	決)設計検討	未)CAD作図	未)在来CAD作図	未)設計検討	現調or検査の移動	その他移動	事務作業
決)BIM作図	決)在来BIM作図	決)申請資料作成	未)BIM作図	未)在来BIM作図	未)提案資料作成	3M	社内会議(3M以外)	現場定例・現場打合せ
決)構造計算	決)在来構造計算	決)積算業務	未)構造計算	未)在来構造計算	未)積算業務	社内での面談・打合せ	社外での面談・打合せ	教育・社内研修
決)設備計算業務	決)成果物Chk	決)議事録作成	未)設備計算業務	未)成果物図面Chk	未)議事録作成	役所調査・協議	検査	現調
決)工事監理業務@室内	決)建築士法業務	決)関係図作成	他)チーム管理業務	他)物件調整業務	他)写真整理	展示会・セミナー	その他	休憩

拠点によって若干の違いがあったものの概ね想定通りの計測結果となり、管理職がプレイングマネージャーとして現場作業ばかりしているわけではなく、管理業務もきちんとこなしていることが数値で把握できたということです。2020年以降は「働き方改革」として残業時間削減に取り組んでいましたが、その効果もあって突出した残業はないことも確認できました。

計測結果を踏まえ、作業時間のウエイトの高い業務からDXによる業務効率化を図りました。会議の議事録作成は、文字起こしと要約をするソフトウェアを導入することで時間を短縮、これまで設計者が現場に行って確認していた作業は、現場作業員のヘルメットにカメラを装着して遠隔地からリアルタイムで見れるようにすることで移動時間を削減、こういったデジタルシステムの導入を幅広く検討されたということです。

大和リース様の導入事例の詳細はこちら (https://www.job-tan.jp/case_study/case10/) でご覧いただけます。

3. 大林組様：見積部門の業務デジタル化の効果検証目的で 「じょぶたん」を利用！



スーパーゼネコン（総合建設会社）大林組の DX 部門が、見積部門の現状把握とデジタル技術を使った新しいアプローチを利用した場合の業務モニタリングで「じょぶたん」を利用した事例を紹介します。



大林組の DX 本部は、今後人口が減っていくという社会情勢のもと、少ない人員でもやっていけるようにするために単なる業務改善ではなく、デジタル技術を使った新しいアプローチで業務プロセスを再設計しています。業務効率を高めるためには業務のポイントを見定めて、どこがボトルネックになっているのかを把握しなければなりません。

見積部門では作業日報を作成していましたが、現状の業務でどの作業にどれくらいの時間がかかっているのか、細かい定量的把握ができていませんでした。デジタル技術の導入前と導入後では見積業務のインプットとアウトプットに変化があることを念頭に、新しいアプローチで時間の使い方が変わっていくことを定量的に示すため、プロセスを細分化し作業時間を正確に計測したいと考えて「じょぶたん」を導入しました。

下記は見積もり部門 5 名の担当者の作業時間計測を元に作成したタイムチャートです。誰がどの時間帯にどんな仕事をどれぐらいの時間やっていたのかが一目でわかります。

図 3. 「じょぶたん」分析ツールで作成したスタッフ別タイムチャート

9時					10時					11時					12時						
スタッフ名	8:20	8:31	#	#	8:48	9:00	9:15	9:30	9:45	10:00	10:17	10:30	10:45	##	11:00	11:15	11:30	11:48	#	12:00	
		比較表作	比較表作	比較表作	成			比較表作	成	その他	比較表作	比較表作	成		比較表作	成				休憩	
		その他	値	その他				図面確認・質疑	作成		値入（査定）				値入（査定）			休憩		休憩	
		値入（査	値入（査	値入（査	値入（査	値入（査	値入（査	値入（査	値入（査			値入（査	値入（査		値入（査	値入（査				休憩	
		値入（査	値入（査	値入（査	値入（査	値入（査	値入（査	値入（査	値入（査				値入（査	値入（査		値入（査	値入（査				休憩
		値入（査	値入（査	値入（査	値入（査	値入（査	値入（査	値入（査	値入（査				値入（査	値入（査		値入（査	値入（査				休憩

BIM やデータベース、デジタル技術の活用に大きく振り切ったアプローチで「新しい業務を作っていくこと」で、今の見積業務を新しい業務に置き換えた場合、業務開始から業務終了までどれぐらいの時間がかかるのか、時間の使い方がどのように変わるのか、新しい業務のモニタリングや効果測定にも「じょぶたん」を利用しました。

大林組様の導入事例の詳細はこちら (https://www.job-tan.jp/case_study/case11/) でご覧いただけます。

4. タナベコンサルティング様：建設会社の生産性向上支援 コンサルティングで「じょぶたん」を徹底活用！



最後に、建設会社の生産性向上支援コンサルティングで「じょぶたん」を利用しているタナベコンサルティング様の事例を紹介します。

タナベコンサルティング様は 2024 年問題が話題になる以前から建設会社の生産性向上支援コンサルティングを多く手掛けていました。クライアントの従業員たちの業務実態を把握するため、以前は従業員の方々にその日やった作業時間をエクセルのワークシートに入力してもらい集計していました。しかし、そのような負担をかけるのは申し訳ないということで「じょぶたん」を導入したところ、負担を軽減できただけでなくデータ集計も迅速にできて、クライアントがなんとなく感じていた問題点をより正確にデータで裏付けできるようになったとのこと。クライアントからも受けが良く、企画書の提出時から期待感を持ってもらえると、今でも多く

のコンサルティングでご利用いただいています。

以下は建設会社 A 社の作業時間計測での「じょぶたん」の計測作業項目の画面です。

図 4. 建設会社 A 社での「じょぶたん」作業項目ボタン (2 画面)

現場作業/打合せ			事務作業		
現場管理	パトロール	写真撮影	作業指示書・工事日報	工程表作成	施工要領・図面等作成
現場作業	検査試験立会	朝礼・昼礼	検査試験・試験記録	写真整理	資料作成 客・協力会社
終業確認・残火確認	その他現場作業	打合(顧客・設計監理)	積算手配	安全書類作成	発注・請求処理
打合(協力会社)	打合(他社)	打合(自社)	社内文書・メール確認	教育	その他事務処理
その他打合	食事・休憩	移動	会社行事	その他	食事・休憩

建設会社 A 社のコンサルティング業務では、27 カ所の現場約 70 名の従業員を対象に「じょぶたん」で作業時間計測を実施しましたが、計測対象者の残業時間が恒常的に多く、勤務時間が 1 日平均 12.5 時間にも及んでいることが明らかになりました。中には 15 時間を超える従業員もいました。

計測結果から、現場の所長クラスが管理業務でなく、作業ベースの業務をたくさんやっていたという実態が浮き彫りになったそうです。そのことはなんとなくわかってはいたのですが、「じょぶたん」による計測前はそれを裏付ける数値データがありませんでした。所長クラスが作業業務をするのは悪いことではありませんが、「時間をかけすぎているのではないか」「本来の仕事ができていないのではないか」という課題が明確になりました。

所長は「現場管理」や「教育」が主たる業務のはずですが、「教育」というボタンを設定したところ、このボタンを押した所長は 1 名だけで、「現場作業」や「図面作成」に追われて「教育」の時間が取れていないことが判明しました。本来、「図面作成」は A 社では主任クラスがする作業で、主任クラスのスキルを上げることが所長クラスの仕事ですが、下が育ってないから所長が図面を書かなければならず、図面を書いていると部下に教える時間がない、そういう悪循環がデータから見えました。

他の建設会社では、所長が全て図面作成・チェックを担当するのではなく、所長の指示のもと本社の CAD オペレータが修正し、所長や主任がチェックするという分業の方法でうまく効率化しているので、タナベコンサルティング様は A 社に分業の提言をされたそうです。

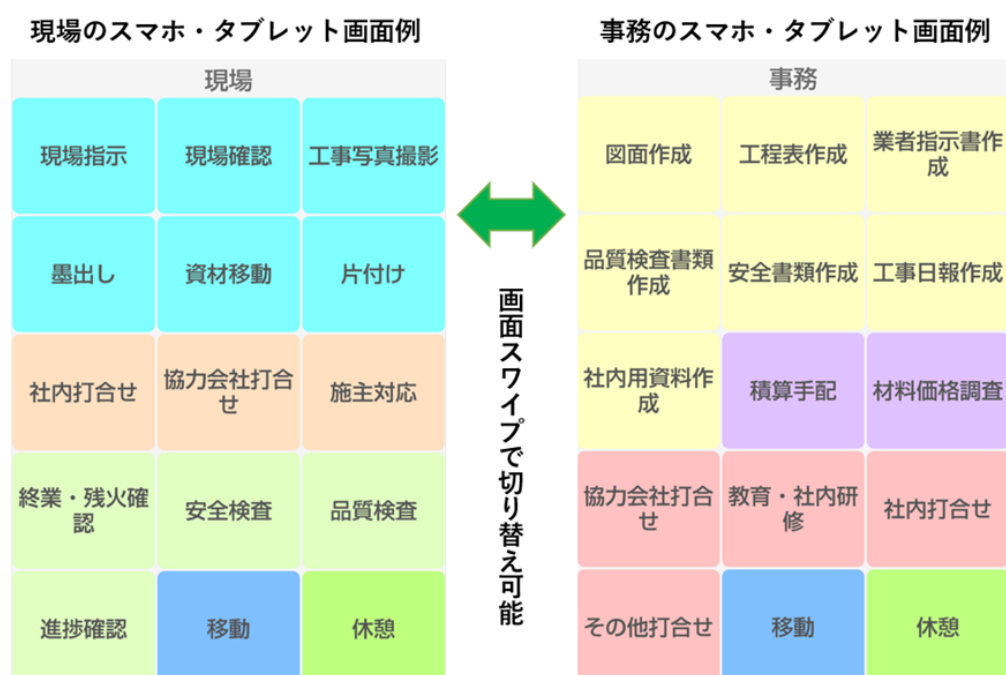
タナベコンサルティング様の導入事例の詳細はこちら（https://www.job-tan.jp/case_study/case02/）でご覧いただけます。

おわりに

建設業界での導入事例を 4 つ紹介しましたが、紹介した 4 社以外でも多くの建設会社で「じょぶたん」をご利用いただいています。建設会社向けの作業項目のテンプレートを作って欲しいというご要望が多かったため、これまでの導入実績を参考に「建設会社向けの作業項目テンプレート」を作成し、「じょぶたん」に標準装備しました。

「現場作業」と「事務作業」の 2 つを大きな括りとし、「現場」では「墨出し」「工事写真撮影」「施主対応」「終業・残火確認」などの 28 項目、「事務作業」では「施工計画」「工程表作成」「安全書類作成」「材料費調査」「積算手配」などの 34 項目、合計 62 項目の計測作業項目があります。

図 5. 建設会社向け作業項目テンプレートでのサンプル画面



このテンプレートは基本的な建設現場の業務を網羅しており、作業項目の追加・変更・削除するだけで、簡単に自社の計測作業項目の作成ができます。

この導入事例集を読んで「じょぶたん」に興味を持たれた方はぜひ当社の HP よりお問い合わせください。オンライン会議システム（Teams/Zoom）で詳細説明をいたします。

じょぶたん HP (<https://www.job-tan.jp/>)



（この記事は 2025 年 8 月 18 日の情報をもとに書かれました。）

[ろじたんお問合せ先]

株式会社 N X 総合研究所

<https://www.logitan.jp/>

※ろじたんサイトのお問合せフォームよりご連絡ください